



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2009年(平成21年)10月31日

第50号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

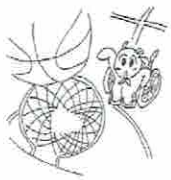
TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

第50号発行記念

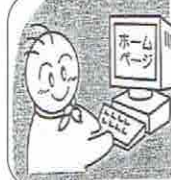
ボランティアセンターだよりは1987年(昭和62年)に第1号を発行し、ついに第50号を迎えることができました。ボランティアのみなさまのご協力あつての成果だと思えます。

そこで、50号発行を記念しまして、市社協登録ボランティアグループのみなさまにコメントをいただきましたのでご紹介いたします。



青少年ボランティアグループ 「つぼみ」

みんな仲良しでボランティアを楽しんでいるグループです。



ホームページ作成ボランティアグループ「アクセス」

ボランティア情報をぶらっとのホームページより発信活動しています。

高齢者介護支援グループ 「ステッキ」

高齢者の支え(ステッキ=杖)にとの想いがメンバー全員の支えになっています。



運転ボランティアグループ「豊中アッシー」

車いすの方の【足】として早20年近く…これからも安全運転で活動していきます。



いきいき歌体操グループ 「さわやか」

歌って軽い体操をしながらみんなと一緒に楽しんでいます。



外出支援ボランティアグループ 「みちしるべ」

ボランティアは楽しく元気に、そしてちょっとお役に立てれば！みんなでなごやかに活動しています。

子育て支援と家事援助グループ 「そよかぜ」

保育のボランティアをした後、子ども達からありがとう、バイバイとお礼を言ってもらえるとほっとします。



手作り介護用品制作ボランティアグループ「小さな手」

介護用品の数々をみんなで楽しく作っています。ぜひお越しください。



友愛電話訪問グループ「聴くの会」

活動で最も大切にしているのは、優しさと相手の方々に思いをめぐらせることです。



福祉ビデオ制作グループ 「ズームイン」

少人数ですが、頑張って皆さんの活動を紹介しています。

ボランティアグループ
あれこれ

子育て支援と家事援助グループ

「そよかぜ」編



市長表彰をいただきました。

厚生労働大臣表彰も受賞が決まりました！



市社協登録ボランティアグループ「そよかぜ」は1992年6月に発足し、現在16名で活動しています。活動内容は、主に講座等での保育ボランティアです。1歳半検診、双子やダウン症の子どもさんをお持ちのお母さん方の交流会など、メンバーで分担してできる限り協力しています。お母さん達が一所懸命に勉強しておられる様子を見てみると、「そよかぜ」も頑張らなくては、と感じさせられます。また、保育以外でも、身体障がい者の方の買い物支援などの家事援助も皆さん楽しくお話ししながらお手伝いさせていただいています。

ボランティアを始める時に受けた研修で、「細く、長く、自分にできる範囲の事をするのがボランティア活動が続いていく上で大切」という言葉をお聴きし、一緒に活動していただく方にはいつもこの言葉をかけるようにしています。健康でボランティア活動ができる喜びに感謝しております。

共に活動していただけるメンバー募集中ですので、いつでも「そよかぜ」にお声をかけていただければ幸いです。

11月17日(火) 11:00より

「ふらっと」にて

『ボランティアはじめませんか』を開催します！メンバーが活動の紹介をいたしますので、ぜひご参加ください！！

☺活動に興味のある方は・・・

☆定例会

第3火曜日 10時～12時

ボランティアセンター「ぷらっと」



☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぶらっと」

豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ内)

☎ 06-6848-1000 FAX 06-6848-1005



ボランティアスクール入門講座



【参加者の感想】

・吉田先生の講義にとっても感動しました。これから、身の丈にあったボランティア活動に参加したいと思います。

この講座は、これから活動を始めの方を対象に『福祉の町づくりとボランティア』をテーマにして、ボランティア活動に向けての基礎知識を、3日間にわたり学んでいただく講座です。のべ28名の方にご参加いただきました。

①6月12日(金):講演

「はじめませんかボランティア」

講師—吉田芳子さん

②6月19日(金):体験学習(車いす・アイマスク・インスタントシニア)

講師—市社協登録ボランティアグループ

「みちしるべ」「ステッキ」

③6月26日(金):ボランティア体験談など

講師—市社協登録ボランティアグループ「さわやか」、小曽根校区福祉委員会、市社協登録ボランティア

親子ボランティア講座～親子で探検隊～

7月24日(金)、小学生の子どもとその保護者を対象に「親子ボランティア講座」を開催しました。この講座は、夏休みに親子で共通の体験をすることで新たな気づきや発見をしていただくことを目的として開催しています。

今年は4組の親子に参加していただき、人数は多くありませんでしたが、子どもたちは元気いっぱい色々な体験にチャレンジしていました。



↑車いすでリフト付自動車に乗る体験もしました。

ボランティア体験プログラム

このプログラムは、大阪府社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会の共催で、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ、NPO団体の協力により、ボランティアを一層身近に体験して頂く事を目的としたものです。

介護老人保健施設にて。→入所の方と笑顔でコミュニケーション。



福祉作業所にて。梱包作業をお手伝い。



対象は小学生から社会人、高齢者と幅広く、7月1日～8月31日の期間で普段はボランティア活動に参加しにくい方にも積極的に取り組んでいただく機会となりました。

豊中市では、高齢者施設をはじめ、障害者通所授産施設、保育所、校区福祉委員会といった73施設でプログラムが実施され、その中の43施設延べ332名の方々が活動されました。

桜塚高校文化祭

9月19日(土)、桜塚高校文化祭にて、ボランティア団体連絡会・PTA 生徒育成委員会・生徒保健委員会が共催でボランティア体験ブースを催しました。

昨年に引き続き、2回目の開催で当日は手話・点字・手作り介護用品の作製・車いす・アイマスクの体験と点字のついた日用品を集めた展示会などをおこない、生徒や家族連れなど多くの方々が訪れて下さいました。

また、生徒のみなさんが「介護犬・盲導犬」について事前学習に取り組んだ内容をパネル展示で発表されていました。実際に盲導犬と一緒に暮らしている方にインタビューをし、日常生活の様子や現状の課題などをまとめられていました。

「日本での盲導犬の数の少なさや、提供される盲導犬の数の少なさに驚いたことや、愛情をたくさんこめて育てないといけない事など色々な事が取材でわかりました」との感想でした。

ボランティア活動を始め、福祉について関心を持っていただけるような企画ができるようこれからも取り組んでいきます。



←手話体験コーナー

市社協職場体験

豊中市では、地域体験学習事業の一環として「豊中チャレンジプラン CUL(カル)」を実施しています。この事業は、中学校において生徒に自分の生き方を考えさせる一つの機会として、1年生ではボランティア活動、2年生では職業体験を基本とした活動を行い、校区を中心とした地域の人々や職業に触れる体験学習として実施されています。(※3年生は学校の計画による内容)

市社協でも当初から協力させていただいており、数多くの学校を受け入れています。今回は、7月に職場体験で来られた豊中市立第11中学校の2年生3名の感想を紹介させていただきます。

1日目:福祉の店「なかま」

・最初は緊張してお年寄りの方々となにを話していいかわからず、あせっていましたが、だんだんとなじめてきてとても楽しく過ごせました。

・料理の面でたくさんの方々が一緒に協力をしていて、やっぱり大勢の人が一致団結すると大きな事ができると実感できました。

・商品の販売でお客様に喜んでもらえた時はとてもうれしかった。

・当番の作業所の方に貴重な話をきかせてもらえました。また、たくさんのお客様にご来店いただきとてもうれしかったです。

2日目:ミニデイ遊友

・赤ちゃんそれぞれ遊び方や好みが違うので色々考えるのがとても楽しかったです。

・ボランティアの方に「明るく・元気よく」と言われて、緊張がとけ楽しくできました。

3日目:校区子育てサロン

3日目:市社協登録ボランティアグループ「小さな手」

・実際に作業を手伝わせてもらって、手作り介護用品を使いやすいように工夫しているのがよくわかり、すばらしいと思いました。

ボランティア体験学習 福祉教育研修会開催！

平成21年7月21日(火)、すこやかプラザにて「ボランティア体験学習・福祉教育研修会」が行われました。この研修会は、新規採用された教職員の方々をはじめ、豊中市内で福祉教育にかかわりのあるの方々を中心に、福祉教育について学んでいただき、今後のあり方について考えていくことを目的として、平成17年度より開催しています。今年度は、現任の教職員にも参加を呼びかけ、総勢98名の先生方が参加されました。

★体験学習★

午前中は、6種類のボランティア体験(車椅子・アイマスク・インスタントシニア・点字・手話・手作り介護用品の作成)の中から各々が希望した体験に参加しました。



あいにくのお天気でしたが、傘をさしながら介助することの難しさを実感し、有意義な体験となりました。



車椅子で電車に乗ることが、こんなに怖いとは！介助する方も、される方もとても緊張しました。

★シンポジウム★

午後からは、福祉教育に携わるさまざまな立場の方々にシンポジストとしてご参加いただき、現在の状況や福祉教育に対する思いなどを語っていただきました。

・シンポジスト

市協登録ボランティアグループ「ステッキ」	斎藤 杏子さん
教育センター	三上 洋さん
桜井谷地区社会福祉協議会	秋田 豊子さん



★アンケートより★

・一日だけだったが、ボランティア体験の中で、自分が出来ることから始めることの大切さが分かった。子ども達にも、相手を思っこうしてあげたいとか、伝えたいと自分で思う気持ち大切だと教えた。

・講話の中で「ボランティア活動は、間口は広く、敷居は低く、楽しくやるのがボランティア」ということを仰っていた。まだまだ知識不足ではあるが、困っている方がいたら、ためらわず、声を掛けていくことから始めたいと思う。



☆地域福祉活動支援センター 情報☆

桜井谷地域福祉活動支援センター

9月30日、いきいき歌体操グループ「さわやか」の「ボランティアはじめま専科」を開催しました。

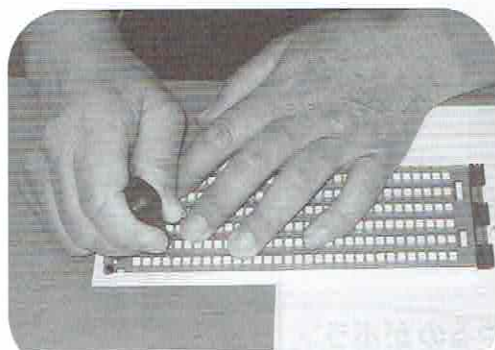
童謡・唱歌・歌謡曲にあわせてみんなで体操し、終わったあとは身体も心も軽やかになったように感じました。

講座の後、デイサービスセンター内にて利用者の方々と一緒に、肩たたき体操や水戸黄門の歌、六甲おろしなど様々な曲で楽しい時間を過ごすことができました。

今後は「さわやか」の活動をより多くの方に知っていただく為、応援していきたいと思います。



高川地域福祉活動支援センター



「ボランティアはじめま専科」で点字講座を開催しました。

10月1日から毎週木曜日に4回講座で、各回6名～10名の方にご参加いただきました。講師は、「手話サークルつくしんぼ」の皆さんと、教育センターの三上洋さんにお越しいただきました。

～講座の内容～

●1回目

自分の名前で名刺を打つ→点字に興味が…

●2回目

歌の歌詞を打とう→興味から面白さへ♪

●3回目

お店のメニューを点字で→面白さから楽しさへ☆

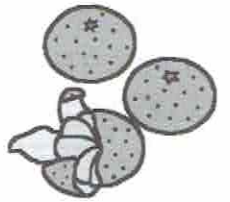
●4回目

クリスマスカード、年賀状作り→4回すべて修了！

アンケートに点字を打って答えて下さる方もおられ、少人数ですが楽しく学んでいただけました。最終日には三上さんの体験談もお話いただき、高川老人デイサービスセンターの利用者の方も一緒に貴重なお話を伺いました。

第18回 全国ボランティアフェスティバル しみいるチカラ！愛媛から

9月26日(土)・27日(日)愛媛県のひめぎんホールで上記のイベントが開催されました。このフェスティバルはこれまでのボランティア・市民活動を振り返りながら、誰もが安心・安全に暮らせる社会作りを実現させるために必要なこれからのボランティア・市民活動について理解を深め合い、多くの人々に活動の大切さを伝える為に『しみいるチカラ！愛媛から』をテーマに北海道から沖縄まで各地で活躍するボランティアが一堂に会するイベントです。



↑ 勝部課長の講演



←ステージ発表の一コマ



開会式では厚生労働大臣をはじめ県知事・市長の祝辞が読み上げられた後、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰が行われました。

その後、全体会では「孤立を防ぐ～民力によるセーフティネット作り～」をテーマに、市社協の勝部地域福祉課長と水越洋子さん(ビッグイシュー編集長)、山本譲司さん(ノンフィクション作家)によるパネルディスカッションがありました。

水越さんはホームレスの自立応援事業である、雑誌「ビッグイシュー」の販売についてのお話をされ、山本さんからは自らの服役体験に基づいた、昨今の刑務所の現状として地域から排除された知的障がい者や認知症の進んだ高齢者の避難場所になっているという課題があげられました。勝部課長は「福祉なんでも相談窓口」で相談があったゴミの問題やホームレスの支援などについてそれぞれ報告をしました。まとめの中で「いろいろな問題を地域から排除するのではなく、市民や地域と一緒に問題点を考え、受け入れていくことが一番大切」という意見に参加者は大きくうなずかれています。

2日目は31のテーマに基づき分科会が行われ、それぞれの課題提起や解決に向けた協議・研修会が実施されました。どの分科会も満席でパネリストの事例発表について活発な質疑応答が飛び交っていました。

その他にも、ふれあい広場が開催されボランティアグループや NPO 団体によるブース展示、福祉作業所の販売コーナー、愛媛の特産物販売コーナーや各団体によるステージ発表などがあり、大いに盛り上がっていました。

閉会式では全国ボランティアフェスティバルフラッグが愛媛県から来年開催の広島県に引き継がれ幕を閉じました。これからもボランティアの輪は全国にどんどんと広がっていきます。

～今後の予定～

★豊中ボランティアフェスティバル＆ヒューマンバザー

11月3日(火・祝) 10:30～15:30(ステージ発表は12:00～15:30)

場所: 豊中市すこやかプラザ

★年賀状ボランティア

11月19日(木)、20日(金)、25日(水)、26日(木)、30日(月)

いずれも10:00～12:00及び13:00～16:30 場所: 豊中市すこやかプラザ 2階会議室

★ボランティアはじめま専科

・11月17日(火) 11:00～12:00

子育て支援と家事援助グループ「そよかぜ」 場所: ボランティアセンター「ぷらっと」

・11月17日(火) 13:30～15:00

手作り介護用品作製グループ「小さな手」 場所: 庄本地域福祉活動支援センター

・11月18日(水) 10:00 ～ 12:00

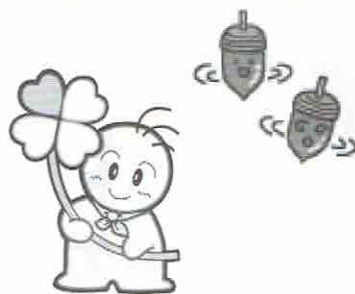
いきいき歌体操ボランティアグループ「さわやか」 場所: 豊中市すこやかプラザ 2階会議室

・11月26日(木) 10:00～12:00

友愛電話訪問グループ「聴くの会」 場所: ボランティアセンター「ぷらっと」

・11月27日(金) 10:00～12:00

外出支援ボランティアグループ「みちしるべ」 場所: ボランティアセンター「ぷらっと」



ボランティアメールをご活用下さい☆

メールでボランティアスクールの開催案内や、ボランティア募集情報などをお知らせします。携帯電話から簡単な受信登録をしていただくと、お知らせメールが届くようになりますので、まずは受信の登録をぜひしてみてください。

▶登録方法は…

①下記のQRコードを携帯電話で直接読み込んでいただき、空メールを送信して下さい。

※読み取りができない場合は、toyonaka87@city.toyonaka.osaka.jp

のアドレスに件名「あんあんメール」と入力し、送信して下さい。

②本登録用のメールが届きましたら、案内に沿って登録を完了して下さい。

※注意※ドメイン指定などで受信制限の設定をされている方は、受信ができるように設定を変更してからメールを送信して下さい。

▶登録に関するお問合せは…

豊中市情報政策室(6858-2781)



編集後記



センターだより50号を迎えて、ボランティア活動に携わっていただいている全ての人々の情熱と努力によって今日に至っていることと思います。これからも100号目指して皆様方と共に励ましあって、少しでも多くの人々がボランティア活動に温かい目を向けてくださいますよう努めたいと思います。(そよかぜ)